

## 第4章 都営大江戸線

### 第1節 大門～都庁前

2023年4月29日（土）晴れ、都営地下鉄大江戸線の大門駅から都庁前駅までの営業キロ20.0kmをリベンジする。この路線は2001年2月、5月に歩いたが、証跡となる駅舎写真や到着時刻などが無いことから本日のリベンジとなった。昨日、東京メトロ（総営業キロ194.6km）を終え一息ついたところであるが、「思いついた日が吉日」そして「時間は無限ではない」という事情などから本日の仕上げ旅となった。最近首都圏地下鉄を集中的に歩いたので、時代劇に登場する地名（深川、神田明神、小伝馬町など）の位置関係やJR線の駅名と地下鉄の駅名の位置関係が多少わかってきたような気がする。同時に複雑な首都圏の地下鉄の路線図が多少頭にインプットされたような気がする。



※大門駅



※大門駅

本日はメトロのため、ネットで路線経路を印刷して臨む。各駅の到着時刻は次の通り。

大門(10:35)～汐留(10:53)～築地市場(11:13)～勝どき(11:45)～月島(11:57)～門前仲町(12:32)～清澄白河(12:59)～森下(13:13)～領国(13:34)～蔵前(14:11)～新御徒町(14:47)～上野御徒町(15:00)～本郷三丁目(15:25)～春日(15:39)～飯田橋(15:58)～牛込神楽坂(16:42)～牛込柳町(16:58)～若松河田(17:12)～東新宿(17:30)～新宿西口(18:01)～都庁前(18:17)

①南林間9時5分発の小田急線と大江戸線に乗りし大門駅に移動。本日から2回にわたり、大江戸線(光が丘～都庁前～大門～清澄白河～都庁前:総営業キロ40.7km)に再挑戦する。大門駅には10時35分到着。この界限は、コロナ禍前の数年にわたり高松一高関東桜紫会幹事会などをした会議室が界限にあったので懐かしくなる。新幹線とゆりかもめ線の間を歩き、汐留駅を目指す。汐留駅には10時53分到着。陸橋を経由し都道50号線を歩いた先に築地市場駅(11時13分)があった。この駅から少し歩いた先に”もんぜき通り”があり、築地市場の恵みを堪能するため沢山の人と対面する。コロナ禍以前のよき時代を思い出す。



※汐留駅への路



※築地市場駅への路、築地市場駅



※もんぜき通り界限

②築地市場界限を經由し、勝どき駅を目指す。途中、隅田川に跨る勝鬨橋（万歩計で428歩）があった。中央区立月島第二小学校前を少し歩いた先に勝どき駅（11時45分）があった。この界限は日本アクチュアリー会の事務所があるので何度もお邪魔したので懐かしくなる。11時48分、78歩ある月島橋を渡る。清澄通りにある月島駅には11時57分到着。相生橋を渡った先に、隅田川に面して中の島公園があった。この公園に暫く滞在する。近くに閉館中の明治丸が印象的であった。この界限は2021年11月京葉線整理のために立ち寄ったエリアであったので懐かしくなる。その時は夕方だったが。12時22分、東京海洋大学前を通過。この界限に京葉線の越中島駅があったことを思い出す。12時30分、57歩ある黒船橋を渡る。清澄通りと永代通りにある門前仲町駅には12時32分到着。



※勝鬨橋、隅田川



※勝どき駅



※月島橋、月島駅



※月島駅、相生橋



※中の島公園



※明治丸、東京海洋大学



※門前仲町駅

③12時43分、深川一丁目児童遊園前を通過。その先に海辺橋（仙台堀川；42歩）に面し芭蕉の採茶庵跡があった。この川に沿って遊歩道もあった。先日の半蔵門線リベンジで立ち寄った清澄白河駅には12時59分到着。近くに高橋乗船場がある高橋（98歩）を經由し森下駅（清澄通り×新大橋通り）には13時13分到着。近くに弥勒寺橋跡があった。この境界で江東区から墨田区（13時18分）となる。遠くに東京スカイツリーがあった。13時25分、48歩ある二之橋を渡る。総武線を潜った先に両国駅（13時34分）があった。この境界にある横網町公園で暫く滞在する。昨日に引き続き、鯉のぼりを見かける。



※芭蕉の採茶庵跡、清澄庭園標識、清澄白河駅への路



※清澄白河駅



※森下駅への路、森下駅



※遠くに東京スカイツリー、弥勒寺橋跡



※両国駅

④13時48分、清澄通りから蔵前通りへ。13時51分、創立100周年の看板がある安田学園前を通過。13時53分、278歩ある蔵前橋（隅田川）を渡る。墨田区から台東区となる。蔵前駅には14時11分到着。この境界は本年1月都営浅草線リベンジの際立ち寄ったので鮮明に記憶に残っていた。後編に続く！！



※横網町公園



※蔵前駅への路



※蔵前駅界限、蔵前駅

⑤14時18分、鳥越神社前で本日の安全を祈願する。新御徒町駅への道筋、誤ってJR線にぶつかるまで蔵前通りを進行する。しかし、この通りには新御徒町駅はなかった。地図を確認し、通り過ぎていたのに気づく。何人もの人のお世話になり、やっとリカバリーできる。春日通りにある新御徒町駅には14時47分到着。20分位ロスタイムする。14時55分、JR線下（御徒町駅あり）を潜る。その先にアメ横があった。ここでも沢山の人の姿があった。15時、先日銀座線で立ち寄った上野御徒町駅に到着。



※鳥越神社、新御徒町駅への路



※新御徒町駅、JR 御徒町駅界限



※アメ横町、上野御徒町駅

⑥春日通り（国道 254 号線）を歩く。15 時 7 分、千代田線の湯島駅があった。この近くに湯島天満宮があった。15 時 16 分、春日局終焉之地の庭園に数分立ち寄る。丸ノ内線もある本郷三丁目駅には 15 時 25 分到着。この駅で 20 数年前、大江戸線をアップしたことを思い出す。春日通りを経由し春日駅には 15 時 39 分到着。先日の南北線リベンジの際立ち寄ったのでこの界限も鮮明に記憶に残っていた。



※春日局終焉之地、本郷三丁目駅



※春日駅への路、春日駅



※春日駅、春日駅（後樂園駅）

⑦南北線リベンジした道筋を辿り、飯田橋（15時58分到着）を目指す。途中、小石川後樂園の入口まで立ち寄る。懐かしい神楽坂を経由し、牛込神楽坂を目指す。本日は歩行者天国でもあり沢山のひとと対面する。途中、大久保通りを左折するところ誤って早稲田に繋がる東西線の神楽坂駅（16時32分）まで行く。この神楽坂はフコク生命時代や高松一高関東桜紫会の幹事会でお邪魔したエリアであったので懐かしくなる。15分位のロスタイムで再度大久保通りに戻る。牛込神楽坂駅には16時42分到着。大久保通りを淡々と歩いた先に牛込柳町駅（16時58分）があった。少し、地図に依存し過ぎた関係で、道筋を誤るが地元の人のお陰で若松河田駅には17時12分到着。大久保通りにある若松町交差点を左折した先にあった。



※後樂園駅、小石川後樂園



※飯田橋駅



※神楽坂、神楽坂駅



※牛込神楽坂駅



※牛込警察署、牛込柳町駅



※若松河田駅

⑧新宿余丁町に独身寮があった関係で何度も往来した抜弁天には17時21分到着。四十数年前の独身時代の懐かしい思い出が蘇る。この頃は都営新宿線や大江戸線もなかった。ひらすらバスによる移動のみで、その頃に比べ、抜弁天通りは便利になったものだとは自問自答する。抜弁天巖島神社に暫く立ち止まり記念写真を撮る。淡々と歩いた先に東新宿駅（17時30分）があった。



※抜弁天巖島神社



※東新宿駅

⑨17時37分、稲荷鬼王神社前を通過。歌舞伎町を經由し街並みをくねくねと歩く。新宿西口駅には18時1分到着。甲州通りを經由し、都庁前駅には18時17分到着。辺りは暗くなっていた。新宿西口通路を經由し、新宿駅から小田急線で自宅へ。自宅には19時48分到着。本日で通算営業キロは、**1万4千548 km（活動日数719日、日本の鉄道の52.5%、地球円周の36.3%）**となる。これであと2回のリベンジで首都圏鉄道網がほぼ完了する見込みとなった。



※稲荷鬼王神社、新宿の街



※JR 新宿駅、新宿西口駅



※都庁、都庁前駅



※新宿西口通路を經由し新宿駅へ

## 第2節 光が丘～東新宿、大門～新宿

2023年5月4日（木）晴れ、大江戸線の光が丘駅から東新宿駅までの営業キロ14.9 kmと大門駅から新宿駅までの7.8 kmをリベンジする。東新宿駅から都庁前駅までは4月29日（土）に歩く行程であったが、新宿西口駅経由ではなく新宿駅経由で歩いたことが昨日判明し、本日の再リベンジとなった。

大江戸線路線図



※光が丘駅

本日で大江戸線（40.7 km）の踏破が完成すると同時に、都営地下鉄（109.0 km）や東京メトロ（194.6 km）に加え、横浜市営地下鉄（53.4 km）を含めた**首都圏地下鉄（総営業キロ 357.0 km）の踏破のリベンジを達成する**。22年の歳月を要する長い道のりであったが、都営地下鉄についても”日本横断歩き鉄の旅”PDF読本を執筆できる環境となる。また、地下鉄は地上の鉄道網に比べ鉄道路線が全く見えない分難易度が高いことを鑑み、首都圏地下鉄のPDF読本ラインナップへの道筋は、歩く鉄道作家として最高の気分となる。これで通算営業キロは、**1万4千570 km（活動日数720日、日本の鉄道の52.6%、地球円周の36.4%）**と当面の目標の1万5千キロまで**430 km**となった。



※光が丘駅界隈





## ※光が丘駅

本日歩く大江戸線の路線地図をネットで勉強して臨む。を各駅到着時刻は次の通り。  
光が丘(8:40)～練馬春日町(9:12)～豊島園(9:41)～練馬(10:01)～新江古田(10:35)～  
落合南長崎(11:01)～中井(11:28)～東中野(11:44)～中野坂上(12:05)～西新宿五丁目  
(12:31)～都庁前(12:45)～新宿西口(13:11)～東新宿(13:32)

電車で移動 大門(14:15)～赤羽橋(14:49)～麻布十番(15:07)～六本木(15:33)～青山  
一丁目(16:01)～国立競技場(16:31)～代々木(17:10)～新宿(17:35)

## <光が丘～東新宿>

①電車で光が丘駅まで移動。光が丘駅で地上に出るや否や歩く方向を見定めて臨む。8時52分、夏の雲公園庭球場前を經由し、練馬小学校前(9時12分)通り、練馬春日町駅には9時12分到着。光が丘駅から練馬春日町駅までの行程は、本日一番路に迷う恐れがあったが、太陽と地元の方のお陰で無事到着できる。9時35分、万歩計で26歩ある中乃橋を渡る。9時41分、豊島園駅には到着。9時50分、フコク生命練馬営業所があった。この界限は2022年12月西武線をリベンジの際、通過した区間であった

ので記憶に鮮明に残っていた。西武鉄道下を潜り、西武鉄道が合流する練馬駅には10時1分到着。



※練馬春日町駅への路



※練馬春日町駅



※豊島園駅への路



※豊島園駅



※練馬駅への路



※練馬駅

②10時23分、目白通りに合流する。新江古田駅には10時35分到着。目白通りを淡々と歩いた先に落合南長崎駅（11時1分）があった。目白通りから新目白通り（8号線）、そして山手通り（317号）と方向転換する。暫く歩くと、新宿の高層ビルが見えてくる。11時22分より中井富士見橋を渡る。その気に中井駅（11時28分）があ

った。11時35分、東西線の落合駅（早稲田通り）を通過。11時37分、練馬区または豊島区から中野区となり、道路標識は五反田11km、初台3kmとあった。11時44分、中央線リベンジの際立ち寄った東中野駅には11時44分到着。



※新江古田駅への路、新江古田駅



※落合南長崎駅への路、落合南長崎駅



※新目白通り、中井富士見橋から高層ビル



※中井駅



※東西線落合駅、東中野駅への路



※東中野駅

③11時47分、JR線を跨ぎ、山手通りをキープして歩く。流石、東京。自転車道と歩道が明確に分離されていた。丸ノ内線リベンジでも立ち寄った中野坂上駅には12時5

分到着。12時12分、成願寺前で遅まきながら本日の安全を祈願する。12時16分、長者橋（神田川）を渡る。12時20分、渋谷区となる。12時26分、山手通りから方南通りに方向転換。12時28分、渋谷区から新宿区となる。西新宿駅五丁目駅には12時31分到着。この境界は全く私の記憶にはなく新鮮味を感じた。都庁ビルを確認しながら、都庁前駅を目指す。昼間の都庁前には12時45分到着。都庁に面して、この駅の出入り口が数カ所あった。



※中野坂上駅への路



※中野坂上駅、神田川を背景にして



※方南通り、西新宿五丁目駅



※西新宿五丁目駅



※都庁、都庁前駅



※新宿駅への路

④4月29日（金）歩いた新宿西口通路を經由し、新宿駅を目指す。地上に出て、新宿駅西口を少し歩いた先に新宿西口駅（13時11分）があった。13時16分、302号線を歩く中央線に沿ってある百人町一丁目歩道橋下を潜る。その先の山手線を潜り、東新宿駅を目指す。先日、稲荷鬼王神社がある交差点前を13時29分通過。東新宿駅には13時32分到着。13時32分の電車で大門駅に向かう。後編に続く！！



※新宿西口駅、小滝橋通りを歩く



※東新宿駅への路



※東新宿駅

## <大門～新宿>

⑤大門駅を14時15分出発。14時23分、39歩ある金杉橋を渡る。日比谷通りにある都営浅草線の芝公園駅（14時33分）を通過。14時47分、赤羽橋からの東京タワーは最高であった。高速道路に面した赤羽橋駅には14時49分到着。14時56分、港区立中ノ橋児童遊園前を通過。麻布十番駅には15時7分到着。この界限は4月17日（月）に南北線をリベンジした際通過したエリアであったので、鮮明に記憶に残っていた。



※大江戸線で大門駅まで移動、大門駅



※大門駅



※赤羽橋駅への路、都営浅草線の芝公園駅



※赤羽橋界隈からの東京タワー



赤羽橋駅



※麻布十番駅

⑥319号線から方向転換し六本木方面と記した道路を歩く。15時24分、港区立六本木中学校前を通過する。坂道を上る。15時28分、朝日神社前を通過。六本木駅には15時33分到着。15時41分、沢山の鯉のぼりが泳いで場面を遠くからデジカメに収める。外苑東通りを歩く。15時46分、千代田線の乃木坂駅があった。青山通りに面して、半蔵門線や銀座線も合流する青山一丁目駅には16時1分到着。六本木と青山一丁目間に乃木坂はいい勉強になった。



※六本木駅への路、六本木中学校



※六本木駅



※鯉のぼりが沢山



※千代田線の乃木坂駅、青山一丁目駅



※青山一丁目駅

⑦16時7分、港区立青山小学校前を通過。その先に京都芸術大学と東北芸術工科大学（16時17分）があった。16時24分、JR信濃町駅に到着。JR線と高速道路に沿って歩いた先に国立競技場駅（16時31分）があった。この駅から目と鼻の先にJR千駄ヶ谷駅があった。17時、JR貨物線の青山街道踏切を渡る。丁度その際、電車が通過する場面に遭遇する。右手に中央線、前方に山手線が見えてくる。山手線を潜った先に代々木駅があった。ここで大江戸線の代々木駅が見えないので右往左往する。しかし、通行人の方にお世話になりやっと大江戸線の代々木駅（17時10分）到着できる。近くに十勝産あずきの鳴門鯛焼本舗があったので鯛焼を購入し、遅いランチとする。



※国立競技場駅への路、国立競技場駅



国立競技場



※代々木駅への路、青山街道踏切



※代々木駅

⑧17時23分、小田急線踏切前に到着し暫く踏切が上がるのを待つが一向に渡れず。それで15m位上にある線路に沿った高島屋がある通路を経由し新宿駅に向かう。大江戸線の新宿駅には17時35分到着。中央林間駅前のオリンピックで買い物を済ませ、自宅には19時29分到着。本日で大江戸線が完成しホットする。



※鳴門鯛焼本舗、小田急線渡れず



※新宿駅への路



※新宿駅

本日をもって首都圏鉄道のリベンジが終わったので一息つく。しかし、筆者の終着駅ではない。これから全国鉄道つたい歩きを効率的に展開するため、” どう細切れ時間を有効に活用するか” が今後の大きな焦点になりそうである。体力や路銀の負担も相当かかりそうである。その中で、近々の金字塔である1万5千キロの踏破や国立国会図書館納本に掲げている第29編～第32編の路線を一日でも早く執筆したものだ。苦難は多いが歩く鉄道作家としてまだまだ夢膨らむ。応援宜しくお願いします。